

## 第5回 国際バカロレアシンポジウム

# 「教育に枠はない- IB for everyone」

国際バカロレア (IB) 教育は、修了生が世界のトップクラスの大学に受け入れられることから、高学歴のエリート養成のための特別なプログラムとして受け止められています。

しかし、米国などでは、多民族の低所得者層地区の公立の教育困難校に導入され、生徒の高校や大学進学後の学びの改善が示されたことから、より多くの公立の学校で IB 教育が取り入れられています。また、これらの学校では、IB 科目を IB コース履修生以外にも開放し、IB 教育で学ぶ機会をより多くの生徒に提供しています。

現在、我が国の教育は、従来の知識・技能を教える教育から、学習者が自ら進んで考え、判断し、多様な人々と協働して問題を解決する資質や能力を育む教育へと大きく転換しようとしています。このような「新しい能力」を育むために、多様な学習活動が高校や大学教育にも導入されつつありますが、IB はこのような教育を実践するプログラムとして注目され、その導入・普及を積極的に進めるための対策が実施されています。

本シンポジウムは、シカゴ市において IB 教育を低所得者学区に導入する施策を企画・運営されてきた担当者の方、また、日本と米国の高等教育の研究者で、フロリダ州の移民の多い低所得者地区に導入された IB 校について調査を行った大学教員の方をお招きして講演をしていただきます。これらの講演の後、IB 教育の専門家、長年 IB 教育を担当され現在 IB 校の校長を務められている方、IB 校を地域に設立するために活動されている方に参加していただき、IB 教育を、公立学校を含めて広く導入・普及するために、どのように活動していけばよいかなどについて討論し、提言をいただきます。

## 2018 年 9 月 7 日 (金) 13:00~16:00

## 岡山国際交流センター

《 参加申込 》

岡山大学アドミッションセンターホームページから 9 月 4 日 (火) までに  
ご登録ください。⇒<https://www.iess.ccsv.okayama-u.ac.jp/admissions/>

入場  
無料

お 問 合 せ

岡山大学 アドミッションセンター

TEL : 086-251-7284

E-mail : [ac@okayama-u.ac.jp](mailto:ac@okayama-u.ac.jp)



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY



第5回国際バカロレアシンポジウム  
～教育に枠はない - IB for everyone～

◆日 時 平成30年9月7日（金） 13:00～16:00  
◆場 所 岡山国際交流センター 国際会議場

プログラム

12:30～ 受 付

13:00～ I 開会の挨拶 岡山大学理事・副学長（教育担当）佐野 寛

II 講 演

13:10～13:40 “The Impact of IB Programs in an Economically  
Disadvantaged Area in Florida”  
IB のインパクト—フロリダ経済的困難地区で—  
前玉川大学教授，現 University of West Florida

**Douglas Trelfa** 氏

13:45～14:15 “The Story of IB in Chicago” IB 導入—シカゴの場合—  
Chicago Public Schools, School Social Worker

**Sara Leven** 氏

14:15～ 休 憩

15:00～ III パネルディスカッション

パネリスト

筑波大学客員教授 日本国際バカロレア教育学会会長

**キャロル・犬飼・ディクソン** 氏

英数学館高等学校 校長

**永留 聡** 氏

白馬インターナショナルスクール設立準備財団 代表理事

**草本 朋子** 氏

**Douglas Trelfa** 氏

**Sara Leven** 氏

モデレーター

岡山大学副学長（入試改革担当） 田原 誠

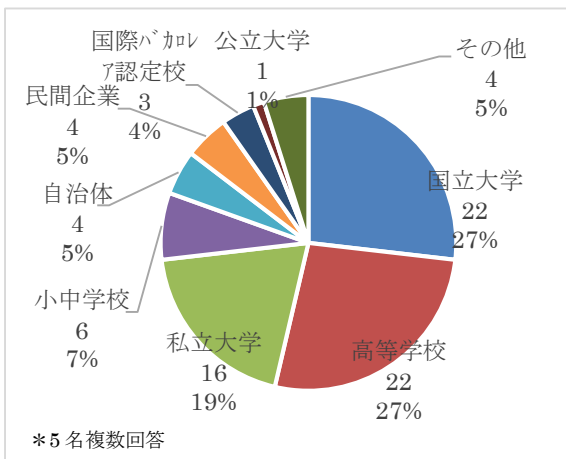
16:00 閉 会

## 大学教育再生加速プログラム採択事業シンポジウム ～ 教育に枠はないーIB for Everyone ～

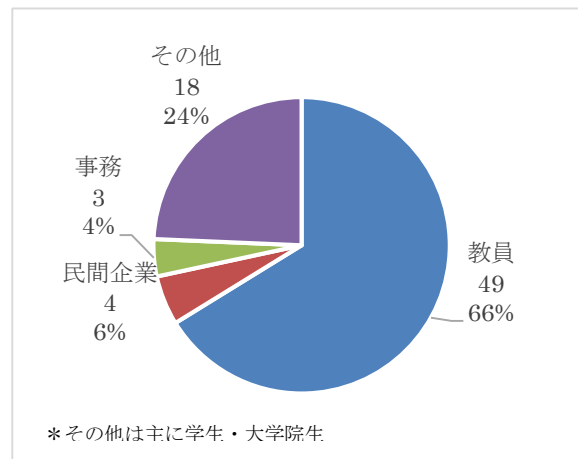
日 時 平成30年9月7日(金) 13時00分～16時00分  
場 所 岡山国際交流センター 国際会議場

参加者数 102名 (学外82名 学内20名)  
アンケート回答者数 74名

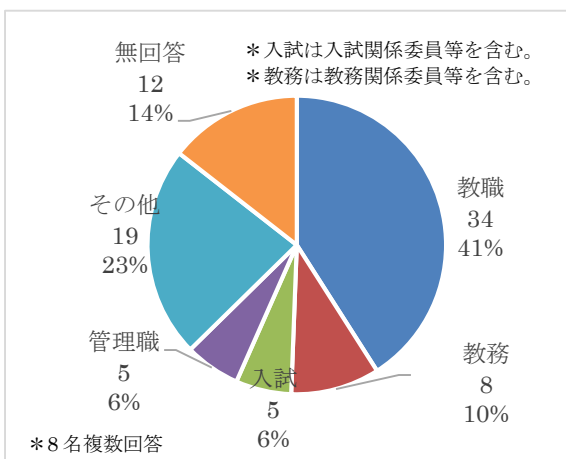
問1. ご所属はどちらですか。



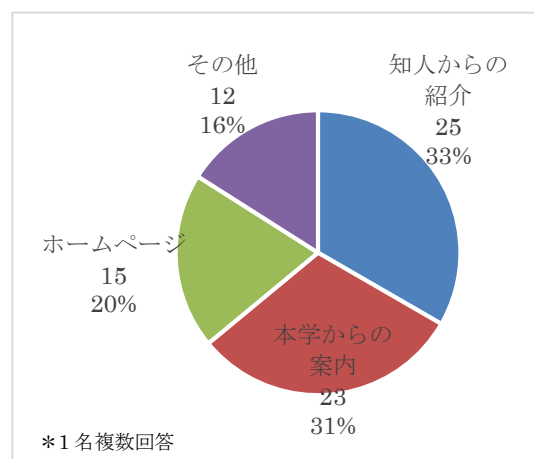
問2. 職種をご回答ください。



問3. ご担当のお仕事を回答ください。



問4. 本日のシンポジウムの開催をどちらで知りましたか。



問5. 本日のシンポジウムはいかがでしたか。それぞれについて回答ください。

■IBのインパクト – フロリダ 経済的困難地区で – University of West Florida, Douglas Trelfa 氏

選択項目	回答数	回答率
1. 参考になった	43	58%
2. まあ参考になった	23	31%
3. あまり参考にならなかった	7	10%
4. 参考にならなかった	1	1%

74

(感想)

- Pensacola 高校の取り組みについてももう少し具体的な事例を出していただけると良かったかなと思います。
- もっと具体的な内容が聞きたかった。表題とあまり一致していなかった。
- IB はエリート教育であるという認識が前提として感じられることが多いが、それを打ち破るという意味で大いにインパクトがあった。
- ダグラス氏のバックグラウンドがとても興味深かったです。詳しくお話を聞きたいと思いました。
- As someone born and raised in the US, and who has also worked in education at a school aiming to implement an IB program, most of the things covered in the presentation were already apparent. I would have loved to hear more about the research into the socioeconomic backgrounds of students. He's done and the impact that the IB has had on students of different backgrounds.
- IB というとエリートのイメージがあったが、そうでないことが分かった。
- 聞き取りやすい英語でお話ししていただき、分かりやすい講演でした。一部の裕福な層だけでなく、広く一般に IB の教育を取り入れれば良いか卒論で研究しており、興味深い内容でしたが、Pensacola における実際の実践についてもっと詳しく知りたいと思いました。
- 30 million words project のお話が興味深かった。西フロリダの事例をもう少し詳しく知りたかった。
- 初めて知った知識と自分の考えを改めて変えられました。
- 教育の可能性を感じた。
- Common Core Standards との alignment などが必要かということも伺いたかった。
- この話は文科省に聞いてほしいです。
- 日本の教育制度を熟知された上での IB プログラムの説明をいただいたので、わかりやすくとても参考になりました。
- 経済的に困難な生徒とそうでない生徒の負担の違い、経済的な問題で勉強が充分でない生徒へも DP 教育ができるのか？あたりもお伺いしたかった。
- 校内の IB 生/IB 以外生の影響関係をプラス要因として考えていく種がいただけました。
- 日本型の IB 教育をどうつくりあげていくかを考えるきっかけになりました。
- 具体的に学校の様子、生徒の授業内容を映像で見せてほしかった。
- もう少し具体的な例をお話していただきたかったです。

- 話が抽象的すぎた。実際に行っている授業内容が知りたかった。
- 日本の教育とアメリカの教育の成長（program）と変化が見えておもしろかった。
- 広島にゆかりのあるというダグラス先生のお話で興味を持ちました。
- ハーフであるからこそその話が興味深かった。
- Identity Crisis みたいなどころから TOK というのがとても興味深かった。
- IB が日本の IB を選択していない生徒たちとどのようにコラボできるのか、これからは興味があります。
- もう少し具体的に聴いてみたかった。
- 経済的困難な子どもたちを対象に IB 教育を行うということが日本でも行われるようになればなあ…なんて思いながら聞いていました。

#### ■IB 導入 –シカゴの場合– Chicago Public Schools, Sara Leven 氏

選択項目	回答数	回答率
1. 参考になった	55	74%
2. まあ参考になった	16	22%
3. あまり参考にならなかった	3	4%
4. 参考にならなかった	0	0%

74

#### (感想)

- 市全体の取り組みであることがよくわかりました。リーダーシップの大切さも…
- 具体例がいくらか示されていた点は良かった。
- 画期的な導入と拡大に興味深いと思いました。シカゴの都市性を照らし合わせて考察を伺いたい。
- IB for All の視点がおもしろかった。
- Sara 氏やその他の人たちのシカゴの IB 校を増やしたプロセスにとっても素晴らしく思いました。
- IB がエリートだけを対象にしている訳でなく、すべての子供に対して開かれているということへの取り組みは非常に興味深かった。
- I'd heard from a colleague in passing about the success of the IB programs in Chicago, but Sara's presentation helped me to understand how it became so successful in the Chicago context. I would have loved to hear more about all the different programs (how many CPs, what kinds of students have found success, whether they tend to matriculate overseas, etc.) if we had more time.
- シカゴでの IB の拡大について聞き、驚いた。また、そのバックアップを市が行っていることにも驚いた。
- 分かりやすい講演で良かったが、貧困層の生徒にどのようにアレンジして（変化させて）IB を提供するのか、またアレンジの必要はないのか、実際の実践について知りたいと思った。
- 具体的な歩み、Mayor と board の仕組みを知ることができた。Sara 先生のポジティブなお話から IB の可能性を感じた。
- 大変良かったです！

- IB 校になる取り組みが良い。
- 以前、シカゴの Wildwood Elementary School を視察したことがある。公立で、先生方がちゃんと PYP と MYP をされている学校でした。
- IB 校の協力性が競争よりずっと大事だということは日本でもっと広げてほしいです。
- 22 年前からの IB プログラムの変遷についてご説明をいただき、アメリカの先進的な取り組みに感銘を受けました。
- シカゴの様子がよくわかり、非常に興味深く面白かったのですが、さて日本の教育の中で IB を導入するには参考になったかという点、教育政策担当の方に特に聴いてもらったら良いと思います。
- ごく普通の子どもが IB 教育を受けている点に驚きました。(アジア圏の International School では学費がかなり高い学校ばかりでしたので。)
- 広め方・進め方が分かりました。
- シカゴ 1 校から 25000 人規模まで拡大した過程は興味深かった。
- 生徒の変化をもっと知りたかった。
- エリート教育ではない、裕福な地域じゃなくても IB が成功できる例を見れてとても良かった。
- wall to wall という合い言葉が良いですね。教師も生徒も楽しんで学んでいることが伝わってきました。
- シカゴすごい。
- 研究の詳細を知りたかった。
- IB をスクールディストリクトで運営するためのシステム、5 校に 1 校以上が IB 校というのはすごいなと思った。
- 強いリーダーシップと公的な資金、家庭の理解がキーになるのだと思いました。DP 生へのサポートとは具体的にどんなものなのでしょう？
- IB はお金がかかる。でも市長がやらした、お金出したでは全く参考にならない。
- 何のためにどんな教育を展開していくことが必要なのかを考える機会となりました。
- 生の IB 生の声を聞くことができたことが非常に良かった。
- はじめはたった 10 校ほどで始まったのがあっという間に広がって、やはりそれだけ IB は魅力のある教育なのだと思います。

#### ■パネルディスカッション

選択項目	回答数	回答率
1. 参考になった	58	82%
2. まあ参考になった	13	18%
3. あまり参考にならなかった	0	0%
4. 参考にならなかった	0	0%

71

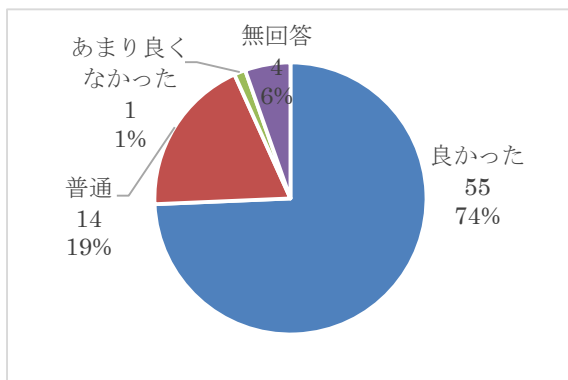
#### (感想)

- 日本の教育文化の中でどうしていくのかを考えていくことが大切。
- いろいろな話題が出てきて、参考になりました。

- エリートのためだけでない IB の価値を改めて理解し、そのプログラムにかかわることに自信がもてた。各地がプラットフォームになるという永留先生の見解にも頷けた。
- 有意義な内容も聞いたが、質問と答えがかみあっていないこともあったように思う。
- 一方で（ダグラス先生の東洋／日本型 IB のお話のような）もう少し IB を批判的に考える視点もほしかった。
- シカゴの IB の実態がわかり興味深かった。
- ダグラス氏の背景・家族の話聞いて、やっぱり“Sel8”が IB には大事だと思いました。
- 専門との関連で、IB と Identity construction のつながりが興味深かった。
- 教員としての視点と IB の視点は重要であると思った。
- I liked that the two presenters and Carol put the emphasis on equipping students with life-long skills, rather than just focusing on the short-term goal of attending university. However, I think with how the attitudes on education are here in Japan (including the student-centered classroom, rather than teacher-owned classroom) there are some additional concerns that I think the Chicago-style implementation cannot address for the Japan context.
- IB の価値について考えが深まった。様々な角度から IB を見れた。
- 日本とアメリカの現状をメインとして、IB を広げることへの課題とその解決策について知識を深めることができ勉強になった。より IB に興味がわいた。
- 質問の時間が短い。
- 疑問に感じていたことがクリアになった。
- 実際に IB はレベルが高いものだという認識があったが、経済的困難地区での導入実践例なども聞くことができ、日本でも公立学校での IB 導入を進めることにはメリットが多いと感じた。
- 具体例があり、わかりやすくなりました。
- 自分の意見がディスカッション内のエビデンスによって新しく知ることができた。
- いろいろな角度から聞いた。
- 非常におもしろかったです。特に、日本の文脈とアメリカの文脈の比較など、参考になりました。
- ディスカッションは良かったが、たまにディスカッションではなく単に話をするだけでも少しあってはどうかと思いました。Q&A もできて良かったです。
- 講演者に加え、日本で先進的な取り組みをなさっているパネラーの皆さんのお話はとても実践的で参考になりました。
- 日本の特殊な状況を基に議論をする場でないので、いろいろお話ししたい事もあるが IB 教育の持つ別の面が知れて良かったと思います。
- 様々な角度から、米と日との IB 教育を取り巻く状況を比較でき、自分たちの環境にも活用できる点が多くありました。
- より多くの事例を聞くことができ、これからやるべきことが改めて整理できました。
- 様々な視点から考えるきっかけができました。
- 皆さんのお話から理念あるところに希望はひらけることはわかるが、その理念を共有できるまでの広げ方が模索の苦しさに今、日本はある。また、そもそも西洋圏のカリキュラムがアジア圏にどうリンクするか、難しさがある。

- 日本の“先生”とシカゴの“先生”の疲弊度合いが際立っていた気がします。IB は良いものと分かっているし期待していても、それを実行したい！という気力が湧かないほど日本の教員が疲れていることを海外の方々と share できたら良いです。
- IB を日本で新たに導入するための難しさ等がよく分かった。
- とても興味深く、参考になりました。
- 様々な観点から話を聞いて良かった。
- 日本とアメリカの対比がおもしろかったですが、両者の共通点も知りたかったです。
- IB 校を運営する上でのいろいろな側面の話が聞いて大変興味深かった。フルディプロマだけでなく、サーティフィケートの生徒も増やす。
- 良い人間になるということが日本の教育では評価されにくいのかなと思いました。大学の入試にバリエーションが増えても、「知識をたくさん持っていること」が評価されるので「学べる人になった」ことは大きく評価されないのでは？
- 東京の TOEFL 助成に驚いた。岡山ももっと教育にお金を出すべき。
- 興味深かったです。トランジションを改めて考えさせられました。
- やはり日本の文脈の中に IB を入れることは様々な困難が伴うと感じた。しかし取り入れていかなければならないと思う。
- 日本、海外それぞれでの IB 校の実態、想いを聞くことができよかった

#### 問6. 全体の運営はいかがでしたか。



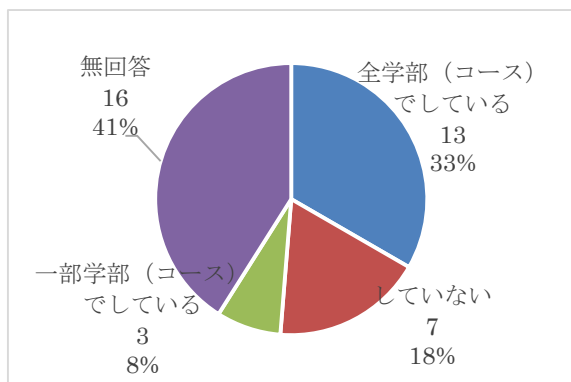
- 同時通訳、大変助かりました。お疲れさまでした。
- 同時通訳があったので、細かい点も理解できて良かった。
- 田原さんの司会がおどおどしていてよくなかった。
- 印刷物の紙がしっかりしていて驚いた。もう少し紙の量を減らす工夫をした方が環境には良いかもしれない。

- スムーズでした。
- 雰囲気が大変良かった。
- スムーズでした。Okayama Convention Center のペーパーバッグを頂きましたが、希望するかしないか尋ねてほしかったです。sustainability の観点から。
- 今後もこのようなシンポジウムがあれば参加したいと思います。明日の学会へも参加したいと思います。
- 翻訳の機械が時折ノイズを発してしまい、周りに迷惑をかけてしまう時があったのが残念でした。
- 休憩時にフロアから質問紙を集める方法をとると良かった。
- 良い質問が多かった。



問7. 大学関係者の方に伺います。

① 貴学では国際バカロレア入試を導入していますか。



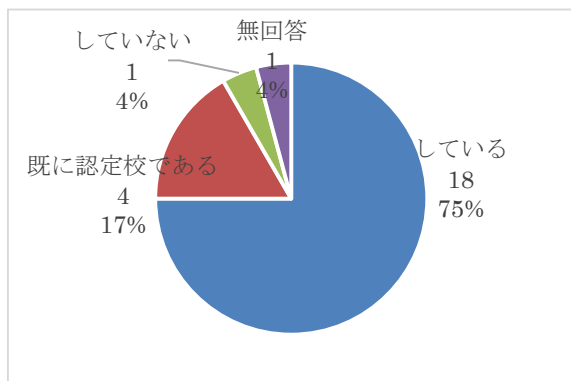
② 日本でも公立校での国際バカロレア教育（IB）導入が進んできています。

貴学での IB 修了生の受入について、ご意見をお聞かせください。

- 本学は IB 入試制度有。
- どんどん増やしたい。
- 積極的です。良いと思います。
- 2020 に初めて IB 入試を行う。
- ぜひ導入したい。
- 更に進めたい。
- もっと幅広く、たくさんの大学が IB 生／IB 入試をしてほしい。
- お金がない。
- IB 教育自体は価値があることだと思うが、今の受験形態が経験ではなく点数重視になっていることに問題があると思う。
- 受け入れていくことが必要だと思いますが、まずエビデンスを集めることから始めなければなりません。

問8. 高等学校関係者の方に伺います。

① 貴校では、国際バカロレア認定校になることを検討されていますか。



② 公立校での IB 教育の導入について、ご意見をお聞かせください。

- 授業料の面で、多くの生徒にチャンスが与えられるので、大いに導入する方向で動いてほしい。
- 本校は私立だが、公立であれば教育委員会の協力が必要。さらに学校全体が IB を理解する姿勢が大切。
- これから進めていくことが必要だと考えている。フルディプロマ以外の方法（一部を採用する方法）も考えることが必要。
- It would be wonderful for public schools to introduce the IB (or a style similar to IB) into their curriculum! The more there are the better unless that was done with a clearly defined idea, goal in mind, and commitment to the program, however, I don't envision happening.
- 広島県にて導入されます。しかし、教員がやらなければならない準備がたくさんあることも事実です。
- 全体の引き上げ、とりわけ上位層の引き上げにも有効である。
- MYP の義務教育段階では、学習指導要領との整合性を訊かれることが多く大変です。公立校で協力して、あるいは文科が説明資料を作るべきです。
- 私立ですが 4 月からやることで時間調整が大変です。できても生徒の休み期間が少なく、CAS や EE に余裕を持ってできなさそうですので、1 月からできるようになることがベストだと思います。
- IB は費用がかかるが、公立としてその費用を生徒に負担させにくい一方、1 クラスあたりの生徒の人数や教員の質などは、今の日本では特別扱いすることになる。この場合の公平さについてどう理解してもらおうか！
- 認定校になるか否かはともかくとして、IB の理念に基づいた教育スタイルを導入するのは有意義だと思います。
- 働き方のシステムを変えるのなら可能だと思いますし、ぜひ導入すべきだと感じています。新学習指導要領は IB そのものとも感じています。
- もっともっと取り入れていくべきだと思います。
- たくさんの IB 校が作られています、「これまでの教育とは違う！」「国際人を育てる！」というコンセプトがとても先行しているので、日本ではやはり elite 教育的に受け止められている感が否めません。シカゴの事例等 evidence を示してもっと周知した方が良いと思います。
- IB のカリキュラムは 21 世紀型スキルと通じるものがあると思うので、ぜひ普通の公立学校で導入すべきだと思います。
- 茨城県在住です。子供が通う高校が昨年度より IBDP 認定校となりましたが、子供は該当学年ではなく参加していません。IB 生は 1 学年 240 名程度の学年のうち 20 名弱ですが、普通クラスの授業とは違う自分達で作っていく授業スタイルが面白く主体的に学んでいるそうです。英語が大変で毎日忙しそうですが、4 月当初に比べての自分の成長を自分で感じながら学んでいるのを聞きました。我が家の子供は高 3 で暗記、暗記と詰め込んでいる様子と比べ、大変魅力的に思います。公立校で隅から隅まで IB！ぜひ IB が広く普及してほしいと思います。
- 米国で、お金のかかる IB 校に州がお金を払うのはおかしいという裁判があったらしいが、州が勝訴し資金を与え続けたという話を聞いたことがあります。公立も腹をくくって IB 校を設立し、試験などにかかる費用のみの負担で DP を履修できるようにすれば良いと思います。

- 私立のみならず、公立でも IB 導入が進めば良いと思っています。
- 新しい学習指導要領がより中身を持った実施になるためにも必要だと思う。
- 教育の方法を根本的に変える絶好の機会だと思う。MYP に関しては日本の文脈の中で実践していくことに困難さはあると感じているが、今後どのように広がっていくかにも興味がある。
- 教員研修などがしっかりなされるか、(金銭的な面も含め) 心配。持続可能な学校にするための取り組みが必要だと感じる。

③ IB 校ではなくても、IB 教育から貴校の教育の取り組みに取り入れてもよいと思われる点がありましたら、ご記入ください。

- 探求型の教育。
- Student-oriented learning.
- Inquiry into topics that are relevant to students & interest them.
- Examining the knowledge they're passively accepted as true.
- Ensuring that students grow into well-rounded humans, not just educated ones.
- 学習パラダイムの転換に良い。
- 探求することは大切なことだと思います。
- IB 校になる。
- MYP コーディネーターが、コーディネーター職に専念できる仕組みなどを整備すべき。
- 具体的なスキルを目標にして指導をすること (知識よりも)。知識も重要だけど、自習のときに簡単に手に入れられます。
- 日本の教育に入れるには TOK が一番であると思うが、それだけが IB 教育かというところでもない気がする。
- Student-Centered, Inquiry, PBL など、とにかく画一的、知識詰め込み型ではないスタイルを取り入れていくのが良いと思っています。
- 主体的=探求・対話的=協働力・深い学び=概念理解だと考えています。
- 国際的視点, diversity の受け入れ方, この思考方法のトレーニングは今後の教育で必要だと思います。
- 勤務校は IB 校ですが、やはり TOK, EE そして部活動には CAS を取り入れると良いと思います。
- TOK 等。

問 9. その他、本日のシンポジウムに関してご意見・ご感想等、自由にご記入ください。

- パネルディスカッションにおいてパネリストの話ばかりではなく、もっとフロアにも Q&A のチャンスを与えてほしかった。
- 国際的なゲスト教授がいらしたので貴重な機会となった。
- Is it possible to have speakers who are from other countries, such as the South / Southeast Asia region? I'd love to hear how they overcame problems when local practice conflicted with IB standards or requirements.
- 有意義でした。

- IB の視点を広く普及させることに興味があるので勉強になった。現場の問題を解決しながらより多くの生徒に IB の恩恵を享受してもらえるような教師を目指して勉強を続けたいと強く思った。
- Sara 先生の“success”をどう定義するかの話が印象的だった。自分オリジナルの成功を日本の大人も持てるようにならないと、本当の意味で IB 教育は日本に普及しないように思う。
- フロリダとシカゴのお話の両方に通じることですが、どのように IB を導入するか（どう日本に導入するか）は考えなければいけないことだと思いました。
- 大変良い企画でした。ありがとうございました。
- アメリカの公立の実態を聞いて良かった。
- 先生方から貴重なお話を伺いました。ありがとうございます。
- とても勉強になりました。今日の学びを自分の知見として論文に生かしていきたいです。
- 無料だったので、学生の私でも勉強させていただくことができ、大変嬉しく思っています。ありがとうございました。
- 参考になりました。理想論的に受け取らないようにがんばります。
- 文科省の方は来ているか分からないが、毎回来るべきだと思います。話す方として入ってもほしいのですが、聞き手としても入ってほしいです。
- とても勉強になりました。ありがとうございました。
- IB ビギナーでした。どんなレッスン・クラスをしているのか具体的なことを知りたいと思いました。暗記・テストで高得点を取る大学入試目的のような教育現状が変わるようにしてほしいと思いました。探究心をつける！とても共感しました。
- 岡山大学の G コースの授業でこの度のシンポジウムに参加したが、非常に有意義だった。私自身 IB についてよく知らなかったが、日本の教育界において新しい注目されている動きだということを知ることができた。
- 忌憚のない話が伺えて楽しく聴講させていただきました。
- とても勉強になりました。
- みなさんの率直な意見が素晴らしかった。
- とても有意義なシンポジウムでした。
- 大学、高校の研究者だけでなく一般にも門戸を開いたシンポジウムを開催してくださり感謝いたします。IB 教育といえば富裕層のためのもの、手が届かないものとのイメージがありましたが、シカゴでは市をあげて公立校で導入され大きな効果をあげているお話、日本でも同じように公立校での学びに IB を採択することが検討されていることが分かり期待しています。会場の先生方の和やかな雰囲気！日本の教育が前進していくことを予感・実感しました。ダグラス先生の生い立ち、アイデンティティと教育を研究される IB に関わられるようになった経緯のお話がとても興味深かったです。
- IB とは直接関係ないのですが、岡大 HP の留学に関するページの説明が大変分かりやすいとの声があります。筑波大生で留学準備をしていた学生さんのお母さんから岡山に行くなら伝えてほしいと言われました。留学に関わる色々な手続きについて分かりやすくまとめてあり大変助けになったそうです。岡大は国際教育に力を入れておられるのだと思います！
- ありがとうございました。

- アメリカと日本で、プロセスと結果に対するとらえ方や期待が違うのだなということがよく分かりました。プロセスが大切なのは理想として日本の先生も生徒も分かっているけど、希望する大学に入れるか入れないかというのがとても大きなハードルだと思います。
- 結局お金かと思った。
- 本日は参加できて良かったです。先生方をはじめ運営の皆様もありがとうございました。

問 10. 今後どのようなシンポジウムやワークショップがあったら参加したいと思われませんか。

- IB の方法などを一般の公立校に取り入れた実践の紹介や大学入試での活用についてなど。
- I would love to have more teacher-oriented workshops and job-alikes! If there was also a symposium about resources & support for the IB programs in the area, both from the private & public sector, than I would also be happy.
- IB ワークショップを開催していただけるのなら参加したい。
- IB 教育や essence を生かせるような大学教員の Professional Development。
- 学生とのやり取りもあるようなものだと良いなと思いました。
- アメリカ以外の（もちろんアメリカもとても興味深いですが）外国でも公立の IB はあると思います。そうした状況を知ることができれば嬉しいです。
- 公立の実施校の発表。
- もっと交流をする場が増えると情報交換できるかと思いました。
- 日本の大学入学 system, 日本の学習指導要領の枠・日本の教員労働環境・教育基本法などの日本の現状の中で、多くの課題から何をどう解決することで IB 理念に添った教育ができるかを本音で語り、本気で解決策を考え、実現に向かう動きが作れるもの。米国と日本では base があまりに異なるので、ヒントはたくさん得られますが実現の道は明確にならないので。
- IB 教職者へ向けたワークショップ, IB 教育体験ワークショップがあればぜひ参加したいです。
- 9月9日にあるワークショップに参加したかったのですが…また頻繁にやってください！！
- IB についての研究論文（世界、日本の両方）
- DP を取って大学へ進学した生徒の3年後の様子、つまり大学でどう成功しているかということの調査など、IB の成果に関するシンポジウムがあれば非常に興味深いと思います。
- IB 修了生のその後を知る機会があると良いなと思います。IB 終了生は大学で何を学びたいと思いい、その後どのように生きていきたいと思っているのでしょうか。
- 教科別のワークショップで具体的な授業例を見てみたい。